

ワークシート

「現代社会と人間としての在り方生き方」

- 青年期と自己の形成
 - ・ 現代社会と青年期の生きかた把握

1 「青年期」の特徴について知識を得よう

用語	用語の説明
(①)	アメリカの心理学者ホリングワースが、おとなの保護・監督から離れて自立したいという子どもの思いをこう表現した。
第二の誕生	フランスの思想家 (②) が、人間が人間として新たに生き始める時期が青年期である、という意味を込めてこう表現した。
(③) のあらわれ	男子の精通や女子の初潮など、男の子は男として、女の子は女としての特徴が現れる、青年期の現象を指す。
(④)	ドイツの心理学者レヴィンが、子どもでも大人でもない境界に存在しているという特徴をもつ青年期をこう表現した。
(⑤)	アメリカの精神分析学者エリクソンが、大人の果たすべき義務や責任を猶予されているという特徴をもつ青年期をこう表現した。
(⑥) の目覚め	自分が、他人とは異なる存在であることを自ら発見し、認識し始めるという青年期の特徴を指す。
(⑦) の確立	青年期の「(⑧)」としてエリクソンがあげた言葉。「自分らしさ (個性や役割)」が何なのかを自分なりに把握し、それを「他者」も認めている状態。さらには、「自分らしさ」をベースに自分なりの判断や決断を下し、自ら行動し、その責任を「自分」で取ることができる状態を指すこともある。

《解答欄》

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

2 「青年期」について考えてみよう

- ① 子どもと大人の「違い」とは何なのだろうか？出来るだけたくさん挙げてみよう。
 ※「○○ができるようになったら大人だ」「□□しているうちはまだ子供だ」を探してみよう！
- ② 青年期が「延長」傾向にある（＝以前に比べて、長い年月が青年期に位置付けられている）のが現代の特徴だが、『進学率』『経済成長』『産業の高度化』の3つのキーワードを手掛かりに、その理由を考えてみよう。

①	
②	

3 「あなた自身」について考えてみよう

- ① 2つ以上の欲求があるけど全部を満たすことができないから「葛藤」する。最近のあなたは、次のようなケースを経験してはいないだろうか？ あれば、具体的に挙げてみよう。
- 《A》「〇〇したい」と「□□したい」が存在するが、どちらか片方しか選べない…
- 《B》「〇〇したくない」と「□□したくない」が存在し、どちらかは避けられない…
- 《C》「〇〇したい」けど、困難やリスクが伴うために〇〇することをためらってしまう…
- ② 「欲求」が満たされない時に、あなたは、その時に感じるイライラやモヤモヤをどのような方法で解消することが多いだろうか？
- ※「テストの結果が思うようにいかなかった時」「好きな人にフラれた時」…君はどう対応する？
- ③ あなたの『ジョハリの窓』を作ってみよう。(家族や友人に聞くなどしてまとめてみよう)

A：開かれた窓 (私も他人も知っている私)	C：気付かない窓 (私は知らないが他人は知っている私)
B：隠された窓 (私は知っているが他人は知らない私)	D：未知の窓 (私も他人も知らない私)

①	A														
	B														
	C														
②															
④	〔ステップ1〕自分の特徴（長所と短所、クセなど）を分析して出来るだけたくさん挙げてみよう！ 〔ステップ2〕家族や友人から自分の特徴を教えてもらおう！ 〔ステップ3〕お互いの意見で一致しているものは（A）、一致していないものは（B）もしくは（C）に分類しよう！ <table border="1"> <tr> <td>A：開かれた窓</td> <td>C：気付かない窓</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>B：隠された窓</td> <td>D：未知の窓</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td rowspan="3">(この窓には何も入りません)</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> </table>	A：開かれた窓	C：気付かない窓	・	・	・	・	・	・	B：隠された窓	D：未知の窓	・	(この窓には何も入りません)	・	・
	A：開かれた窓	C：気付かない窓													
	・	・													
	・	・													
	・	・													
B：隠された窓	D：未知の窓														
・	(この窓には何も入りません)														
・															
・															

◆センター過去問にチャレンジ！

出典：2000年「倫理」本試

青年期の自己発見に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 自分が何者であるのか分からないという「アイデンティティの危機」は、自我を確立すべき青年期に特有の現象であり、他の時期には見られない。
- ② 「第二次性徴」という身体的特徴が現れる時期になると、セルフ・イメージの形成がそれまで以上にセクシュアリティと密接に関係するようになる。
- ③ 実社会に参加して、社会人としての義務や責任を負うことを心理的・社会的に猶予される「モラトリウム」は、人類の歴史上普遍的な現象である。
- ④ 「イニシエーション（通過儀礼）」を経て集団の成員となることは、一種のマインド・コントロールを受けることであり、自己発見とは相いれない。

解答欄